平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名　株式会社 CDG　　上場取引所　大
コード番号　2487　URL　http://www.cdg.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤井　勝典
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長　(氏名) 曽我部　憲昭　TEL 06-6282-0662

四半期報告書提出予定日　平成23年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,661	41.6	282	542.4	287	461.0	173	1,032.5
23年3月期第1四半期	1,879	25.3	44	124.0	51	85.0	15	5.4

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　174百万円　(1,618.8%)　23年3月期第1四半期　10百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	88.68	―
23年3月期第1四半期	7.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,864	2,878	59.2
23年3月期	5,103	2,787	54.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　2,878百万円　23年3月期　2,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	40.00	40.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		0.00	―	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,400	12.7	200	44.5	200	32.7	118	63.5	60.17
通期	9,200	4.4	520	10.3	520	5.4	308	16.0	157.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	2,080,000 株	23年3月期	2,080,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	121,828 株	23年3月期	118,828 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	1,958,779 株	23年3月期1Q	1,989,672 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 8
(4) セグメント情報等 …… 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
(6) 重要な後発事象 …… 8
４．補足情報 …… 9
【生産、受注及び販売の状況】…… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな景気回復の兆しが見え始めていた中、平成23年３月11日に発生した東日本大震災の影響により、企業の生産活動は低下し企業の景況感は悪化することとなりました。個人消費につきましては一部に自粛ムードがあったものの、消費マインドは徐々に回復してまいりましたが、実体経済は円高の進行による企業収益の悪化や原発事故の対応が長期化するなど、先行き不透明感が払拭できない状況にあります。

この様な経済環境の中、企業の生産活動低下から商品供給が滞ったことなどにより、一部において販売促進活動の中止や延期もありましたが、企業の生産体制が回復するにつれて販売促進活動も通常に戻りつつあります。

その様な環境のもと、当社グループでは主力であるノベルティグッズの供給にとどまらず、顧客が抱える営業課題解決に向けたソリューション型の提案営業を強化し、キャラクターや各種コンテンツ等との連動、企業間タイアップの実現など、顧客対応力を高めるためのサービス供給機能を向上させることに注力いたしました。あわせて調達先であるサプライヤー各社との関係強化を推進することで、商品調達力と品質管理体制を高めることに取り組み、市場ニーズを的確に捉えたグッズ提案と安全な商品供給を両立させることで、顧客満足度を向上させることにも努めてまいりました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間における連結業績は、当社グループの主要顧客である飲料業界向けの実績が複数の大型案件を受注したことで大幅に伸びたことに加え、同じく主要顧客である製薬業界向けの案件獲得が引続き堅調であった事から好調に推移し、売上高は2,661百万円（前年同期比41.6％増）となりました。販売費及び一般管理費については予算執行の厳格化の徹底を継続することにより前年並みとなり、これに増収効果が加わったことから、営業利益は282百万円（同542.4％増）、経常利益は287百万円（同461.0％増）、四半期純利益は173百万円（同1,032.5％増）となりました。

なお、当社グループではセールスプロモーションの企画及び販売を行なう単一事業分野において営業活動を行なっておりますので、セグメント情報の記載は行なっておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（流動資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,205百万円（前連結会計年度末4,444百万円）となり、239百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が法人税等の支払や配当金の支払等を行なったことにより442百万円減少したためであります。

（固定資産）

当第１四半期連結会計期間末における固定資産の残高は659百万円（同659百万円）となり、前連結会計年度末と比較して、大きな変動はありませんでした。

（流動負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,743百万円（同2,070百万円）となり、326百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が209百万円、未払法人税等が38百万円、賞与引当金が35百万円減少したことと、その他で43百万円減少したためであります。

（固定負債）

当第１四半期連結会計期間末における固定負債の残高は241百万円（同245百万円）となり、３百万円減少いたしました。主な要因は、役員退職慰労引当金が５百万円減少したためであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,878百万円（同2,787百万円）となり、91百万円増加いたしました。主な要因は、利益処分による配当を78百万円行なったものの四半期純利益を173百万円獲得したことなどにより、利益剰余金が95百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績につきましては、第１四半期については予想を上回る水準で推移しましたが、第２四半期における案件の受注状況には厳しさも見られることから、現時点において平成23年５月13日に公表した連結業績予想について修正は行なっておりません。現在、今後の受注見込みを集計中であり業績見込みが判明しだい速やかに公表いたします。また、通期の業績予想につきましては、当社グループを取り巻く市場環境や景気の先行きを見極めることが困難であるため、第２四半期決算後に改めて見直しを行なう予定であります。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,318,421	1,876,407
受取手形及び売掛金	1,834,126	2,117,151
制作支出金	134,263	97,422
製品	9,172	7,358
原材料	10,593	15,408
繰延税金資産	58,284	34,450
その他	80,763	58,665
貸倒引当金	△1,244	△1,583
流動資産合計	4,444,380	4,205,281
固定資産		
有形固定資産	209,304	204,066
無形固定資産	33,012	28,818
投資その他の資産		
投資有価証券	83,505	85,111
従業員に対する長期貸付金	268	－
繰延税金資産	47,127	47,104
保険積立金	123,992	133,312
敷金及び保証金	121,003	119,881
その他	52,222	51,845
貸倒引当金	△11,119	△11,119
投資その他の資産合計	417,000	426,135
固定資産合計	659,318	659,020
資産合計	5,103,698	4,864,301

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,601,943	1,392,748
未払法人税等	133,381	94,677
賞与引当金	84,500	49,200
その他	250,988	207,215
流動負債合計	2,070,813	1,743,841
固定負債		
退職給付引当金	81,153	83,031
役員退職慰労引当金	164,005	158,490
固定負債合計	245,158	241,521
負債合計	2,315,971	1,985,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	291,000	450,000
資本剰余金	201,000	42,000
利益剰余金	2,458,833	2,554,088
自己株式	△158,761	△163,669
株主資本合計	2,792,071	2,882,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,345	△3,480
その他の包括利益累計額合計	△4,345	△3,480
純資産合計	2,787,726	2,878,938
負債純資産合計	5,103,698	4,864,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	1,879,853	2,661,419
売上原価	1,374,215	1,910,467
売上総利益	505,637	750,952
販売費及び一般管理費	461,610	468,129
営業利益	44,027	282,822
営業外収益		
受取利息	1,258	812
受取配当金	867	1,235
仕入割引	3,838	2,942
その他	1,551	1,236
営業外収益合計	7,515	6,227
営業外費用		
支払利息	56	21
原状回復費用	155	940
その他	43	378
営業外費用合計	256	1,340
経常利益	51,286	287,710
特別利益		
保険解約返戻金	－	3,515
貸倒引当金戻入額	283	－
特別利益合計	283	3,515
特別損失		
賃貸借契約解約損	8,480	1,350
有形固定資産除却損	9,827	611
保険解約損	586	3
特別損失合計	18,893	1,964
税金等調整前四半期純利益	32,676	289,260
法人税、住民税及び事業税	3,405	92,292
法人税等調整額	13,932	23,266
法人税等合計	17,338	115,558
少数株主損益調整前四半期純利益	15,337	173,701
四半期純利益	15,337	173,701

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	15,337	173,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,181	864
その他の包括利益合計	△5,181	864
四半期包括利益	10,156	174,566
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,156	174,566
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日)

当社グループはセールスプロモーショングッズの企画・販売を行う単一の事業分野において営業活動を行っておりますので、記載を省略しております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

当社グループはセールスプロモーショングッズの企画・販売を行う単一の事業分野において営業活動を行っておりますので、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

【生産、受注及び販売の状況】

当社グループは、専ら、ノベルティ・プレミアムグッズに代表されるセールスプロモーショングッズを企画・販売する単一事業分野において営業活動を行い、単一セグメントであるため、セグメント別の情報は記載しておりません。

(1) 生産実績

当社グループの販売するセールスプロモーショングッズは広範囲かつ多種多様であり、同様の製品であっても仕様が一様ではなく、またポケットティッシュ以外の受注商品の製作につきましては全て外注先に委託しております。なお、当社グループで販売するポケットティッシュについて、その多くを当社の連結子会社である㈱岐阜クリエートにおいて生産しておりますが、当社グループで生産しているポケットティッシュの生産実績を示すと、次のとおりであります。

品目	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	前年同四半期比 (%)
ポケットティッシュ(千個)	39,394	120.6
合計(千個)	39,394	120.6

(注)　千個未満は切り捨てております。

(2) 仕入実績

当社グループでは価格競争力を強化するため、一部の商品について中国より直接購買を行っております。当第１四半期連結累計期間における、当社グループにおける国内での仕入実績及び中国からの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

地域	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	前年同四半期比 (%)
国内仕入(千円)	1,434,819	137.3
海外(中国)仕入(千円)	313,661	234.7
合計(千円)	1,748,480	148.3

(注)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第１四半期連結累計期間における、当社分類による顧客所属産業分野別に販売状況を示すと、次のとおりであります。

分野	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	前年同四半期比 (%)
衣食住・流通産業分野(千円)	1,816,557	154.9
情報・通信産業分野(千円)	516,970	124.7
金融・保険産業分野(千円)	98,790	113.2
その他(千円)	229,100	111.8
合計(千円)	2,661,419	141.6

(注)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。